



報告

## 第24回 うたとおはなしの会



4月25日(土)に第24回「うたとおはなしの会」が開催された。当日は初夏を思わせるような晴天に恵まれ、親子連れを中心に153名の参加者で会場はいっぱいになった。

開会に先立ち、新しく図書館長に就任された沖花先生から、「大学生の読書離れが問題になっている昨今、幼児期から読み聞かせを通じて本に親しませることは非常に重要である」というお話があり、参加者した保護者らは頷きながら熱心に耳を傾けていた。館長挨拶に続き、オープニングでは童謡「おはながわらった」(保富康午/作詞、湯山明/作曲)に合わせてチューリップのペープサートを持った4名の学生が登場し、会場全体が和やかな雰囲気になった。続く、パネルシアター「すてきななかまたち」では、子どもたちがいろいろな動物が登場するたびに「あっ、次は〇〇や」など興味津々の様子で学生の問いかけに答えていた。中でもやぎの園長先生のひげが伸びる場面では子どもたちから大きな笑い声が聞かれた。

すっかり楽しい気分になったところで今度は、音楽隊に扮した2名の学生がオーボエとトランペットを吹きながら登場し、楽しい音楽会が始まった。まず楽器紹介を兼ねてオーボエが「ジュピター」(ホルスト作曲)、トランペットが「ウィリアムテル序曲」(ロッシェニ作曲)のメロディーを奏でると、それまでざわざわしていた会場が急に静かになり、美しい音色に聞き入っている様子が伝わってきた。その後子どもたち自身も音楽隊に加わり、学生とフロアの参加者全員で「たのしいね」の合奏を楽しんだ。こうして、音楽でひとしきり遊んだあとは、「つくしんぼ」の手遊びで気分を変え、2冊の絵本の朗読を楽しんだ。一つ目は「とりかえっこ」(さとうわきこ/作、二俣英五郎/絵)、二つ目は「できるかな?—あたまからつまさきまで」(エリックカール/著、工藤直子/訳)である。「とりかえっこ」では、出会った動物と鳴き声をとりかえっこするというひよこの行動に、思わず笑いを浮かべながら見ている子どもの姿が多く見られた。また、「できるかな」では歌に合わせて実際に身体のいろんな部分の動きを楽しむ親子もいた。

そして最後のプログラムでは人形劇「鳥の王様コンテスト」を上演した。この人形劇は、イソップ童話「鳥の王さまえらび」をもとにオペレッタの要素を取り入れて

創作したものである。クジャク、インコ、カナリア、紅雀、白鳥、など美しい色の羽をもつ鳥たちが登場し、それを羨むカラスが、他の鳥の羽を身に纏って鳥の王様を決めるコンテストに出場するのだが、結局自分の羽ではないことがみんなにばれてしまうというストーリーである。子どもたちは羽自慢をする鳥たちの様子を嬉しそうに見たり、カラスを優しく諭す神さまの言葉に真剣に耳を傾けるなど、お話の世界にぐっと入り込んでいる様子が見られた。

人形劇が終わると、4月に入学した幼児教育専攻の新生19名が「ちいさなせかい」を合唱し、幕を閉じた。参加者たちは学生手作りの「小鳥の飾り」をお土産にもらったり、人形劇の鳥たちと写真を撮ったりしながらしばらく会の余韻を楽しんでいた。終了後のアンケートでは、「若い学生さんたちのやさしさと情熱が伝わってきて、最後は涙がでるほど、素晴らしいひと時でした」「できればこの会を毎月開催してほしいです」「すっかりリピーターになりました。娘は(この会で)1回聞いただけの歌を、いつまでも繰り返し口ずさんでいます♪」(4回目の参加、3歳女児の母)「ご近所にこんな楽しい催しがあるのを初めて知りました。是非また来たいです」(5歳女児、0歳男児の母)など、好意的な意見が多く聞かれた。

今回は、4/13から2週間にわたって開催している「絵本と人形展」の最終日であったこともあり、終了後に人形の展示を見たり、椅子に座ってしばらく絵本を読んでいる親子の姿も多く見られた。参加者から、親子で物語の話をして、家庭で読み聞かせをする機会が増えたという話を聞くと、この会を継続してきた甲斐があったと感ずることができる。このような暖かい心の触れ合いがこれからももっともっと広がっていくことを願い、次回開催に向けて努力を重ねていきたい。

平井 恭子 (幼児教育科 准教授)



## ざっさくプラス 無料トライアル・講習会のお知らせ

ざっさくプラスとは、皓星社刊行の『明治・大正・昭和前期 雑誌記事索引集成』(全120巻)を基に作成された雑誌記事索引集成データベースです。明治初期から現在まで、総合雑誌など全国誌から地方で発行された雑誌(旧植民地などで発行された日本語の雑誌記事も含む)が検索できます。

無料トライアル期間：2015年6月1日(月)～6月30日(火)

学内同時アクセス数：10台(利用後は必ずログアウトしてください)



### 【特別講習会】

日時：2015年6月8日(月) 16:10-17:00

場所：附属図書館北館2階 ラーニングcommons

講師：株式会社皓星社社員

内容：ざっさくプラスの概要、基本検索から便利な活用法等

対象：学内者であればどなたでも参加可能

申込方法：下記メールアドレスに、所属・氏名を明記の上お申し込みください。

library@kyokyo-u.ac.jp(附属図書館：角野)

※当日参加も可能ですが、席の確保のためできるだけ事前にお知らせください。

## PickUp! コーナ～ 「大型図書コーナー」

西館の一番南側にあり、縦の長さが27.1cm以上のものを並べています。

A4サイズの図書はここに並びますし、図鑑や事典などの参考図書、楽譜、美術の画集などには大型図書になるものも多くあります。一般図書と同じように分野ごとに並んでいますので、自分の専門分野など、どんな図書があるか一度のぞきにきてください。

### こんな本をピックアップ!

『ブラックホールとタイムトラベル』

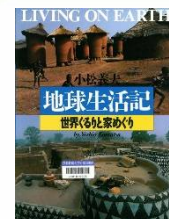
(ニュートン別冊) 請求記号：443.5||TA 82

『地球生活記』 請求記号：527||KO 61

『超定番アニメソングあつめました。』

請求記号：763.2||P 58

他にもいろいろありますよ～。



## 6月の特設コーナーご紹介

渡り廊下のミニコーナー、6月のテーマは  
**晴耕雨読 ～世間のわずらわしさを離れて、  
心穏やかに暮らしてみませんか?～** です。

梅雨で雨の多くなるこの時期。ゆったりと読書するのにぴったりです。雨や虹などお天気をテーマにした本、雨の日にこんなことをインドアでしてみませんか?ということについての本などを集めてみました。

### 自炊を応援! レシピ本コーナー

南館1階ブラウジングコーナーにて

今年から一人暮らしを始めた人、レシピがマンネリになっている人、料理の腕をもっと磨きたい人、図書館でレシピ本を借りてみませんか?『栄養と料理』や『暮らしの手帖』といった雑誌も置いてあります。

また、図書館のリフレッシュラウンジではみなさんのMyとおきレシビを募集中!こちらも見つ、書き込んでください♪



## 講習会のお知らせ

図書館では今年度も、さまざまな講習会を予定しています。知って損はありません。ぜひご参加ください！

《一覧表》※内容・日時等は変更になる場合があります。最新情報は図書館ホームページや掲示等でご確認くださいね。

講習会名	内容	実施期間
Word 講座 (論文執筆編)	論文を書くときに便利な Word の機能を紹介する(基礎的な使い方は行いません)	6月2～5日
文献管理編	集めた論文を管理する	6月2～5日

【集合場所】北館 2階ラーニングcommons

【申込方法】氏名・専攻・希望講座・日時を明記の上、お申し込みください。  
複数の講座にお申し込みできます。

【申込先】library@kyokyo-u.ac.jp (附属図書館)  
申し込みなしの当日参加もOKです！

## 展示室 (報告)

### 絵本と人形展「おはなしの世界へようこそ！」 (主催) 幼児教育科

2015年4月13日(月)～4月25日(土)まで人形劇で上演した作品の中から5つのおはなしを選び、「おはなしの世界をもっともっと楽しんでもらいたい」という思いで、「絵本と人形展」を開催しました。人形作家：平野利江さんのほのぼのとした作品は、子ども達にも大人気！約330名の来場者で賑わいました。

期間中の4月18日(土)、平野利江さんによる**簡単手作りワークショップ「こいのぼりを作ろう」**を開催しました。出来上がったこいのぼりをヒモで泳がせて楽しみました。



ワークショップの様子



展示会場の様子

### 会場系の学生達の感想から

想像していたより人形が大きめで、そのために自分も実際に物語の中に入り込んだような気持ちになりました。小物まで丁寧に作られていて、本当にすごいと思っていました。  
(幼児教育専攻3回生)

(来場した保育園の1～2歳児を見て)子どもの目線からは、より迫力があるように感じました。子どもたちが人形を見ている時の嬉しそうなお顔がとても印象的でした。また、絵本も置いてあることでお話と人形たちが作り出す雰囲気をつなげて感じられたのがとても良かったです。  
(幼児教育専攻3回生)

来場した親子が、展示してある人形を見て「どんなおはなしだったかなあ?」と話がふくらみ、奥のスペースでお母さんが子どもを膝にのせて絵本の読み聞かせをされていました。親子でお話を楽しむ様子を見てとてもうれしくなりました。  
(幼児教育専攻2回生)



絵本の展示コーナー

## 展示室 (告知) 防煙・禁煙教育教材展

【主催】「教員養成系大学における喫煙・飲酒・薬物予防教育のアプローチ」プロジェクトチーム  
京都教育大学保健管理センター

【日時】2015年6月1日(月)～6月5日(金)  
10:00～16:00

【場所】附属図書館北館1階 企画展示室

ぜひ、  
ご覧ください！

## えほんのもり (場所：児童書コーナー)

今月の読み聞かせ会は、  
**6月15日(月) 15:00～** です。

今月の  
絵本カードは  
こちら！

『カルちゃん エルクン  
あつい あつい』  
いわむら かずお 著

★おすすめポイント★

かえるのカルちゃんと エルクンの表情の変化が楽しめます。暑い季節にぴったりの絵本です。

※絵本カードは幼児教育科の学生が作成しています。  
このほかにも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ児童書コーナーに見に来てください。



## 教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品:6月  
「水兵服」

4月からホームページに「今月の逸品」という新しいコーナーが出来ました。毎月1点ずつ所蔵資料を紹介し、展示もしています。どうぞご覧ください！



詳しくは…教育資料館 まなびの森ミュージアム

<http://manabinomori.kyokyo-u.ac.jp/manabinomori.html>

今回の執筆者 内田 利広(教育学科 教授)

## 内的作業モデルの児童期から青年期における変容 —重要な他者という観点から—

内田利広

京都教育大学紀要. 2014, No.125, pp. 117-130

皆さんは、これまで重要な他者として、どのような人と出会ってきましたか。

本論は、ボウルビィという心理学者が提唱した愛着(attachment)というものを取り上げたものです。愛着とは、生後6ヶ月から5歳ごろまでに、養育者(主に母親)との関係において形成される緊密な関係性のことです。そして、その愛着は、子どもの心の中に、自分や相手に対する認識のパターン(内的作業モデル)を形成し、その内的作業モデルは、一度形成されると、生涯にわたってその人の対人関係のスタイル(安定型、回避型、アンビバレント型)に影響を与えると考えられています。

しかし、本研究では、小さい頃の親との間に形成された愛着関係は大きいですが、人間の心はもう少し柔軟であり、その後の他者との出会いによって、愛着スタイルは変化していくのではと仮定しました。

大学生を対象として、調査を行い、小さい頃の愛着スタイルが、大人(学生)になり、どのように変化しているのか、またそこにはどのような人(重要な他者)が影響を及ぼしているのかを調べてみました。

その結果、結構多くの学生が、幼児期の愛着スタイルから、別の愛着スタイルになったという変化を示しました。その変化には、ポジティブな変化もあれば、逆にネガティブな変化(不安的な愛着スタイルへの変化)も見られました。重要な他者のイメージとして、「あてになる存在」「前向きな存在」「大人の存在」という3つの因子が抽出されました。特に「前向きな存在」の他者からの影響は、人に対する親密性が増加することが示されました。

さて、皆さんの周りに、このようなイメージを満たす他者がいるでしょうか。またそのような人と出会ったことがありますか。

調査では、学生における実際の重要な他者としては、先生、友人、そして恋人という順に多かったです。ここで、学生の対人関係パターンに変化を与える重要な他者として、学校の先生が挙げられているのは、大変興味深い結果でした。その続きは、論文を読んでください。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 125号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>にも公開されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2015年6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

6/1 創立記念日

2015年7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

7/1 館内整理日

7/31-8/6 前期末試験

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm>



QRコード

京教図書館 News No.177(2015年6月号)

発行日:平成27年6月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp



京都教育大学